

北竜町ひまわりの里基本計画中間報告書

1 目 的

北竜町のシンボリックな一大交流拠点施設「ひまわりの里」は、1989年に誕生して以来30年がたち、ひまわりの里は北竜町の誇りやシンボルとして定着した。

一方、ひまわりによるまちづくりは全国に波及し、各地で行われているため、本町は他の町との差別化を図り、ひまわりの町北竜町の名を高めるために、新しい発想とデザインを要求される時となった。

ひまわりの里は、これまでは7月下旬から8月下旬の1ヶ月間であったが、ひまわりの里全体のあり方を検討し、全国に誇れる新しい魅力を持ったひまわりの北竜町にし、年間を通じて観光客が北竜町に訪れるようにしたい。

そこで、ひまわりの里基本計画の策定し、計画的な整備を行い、北竜町の価値や知名度を高め、年間を通じて来訪者の増加や宿泊者の増加、ひまわりライスを始めとする北竜町産物の販売拡大、雇用の拡大、移住定住を図り、北竜町の未来の発展の可能性を創造したい。

2 目 標

- (1)北竜町の多様な文化や産業を創造したい
- (2)観光資源の価値を発掘し、北竜町の知名度を高めたい
- (3)ひまわりの里への来訪者の増加を図りたい
- (4)北竜町観光や産物の売上拡大を図りたい
- (5)産業を発展させ、雇用を高め、定住人口の拡大を図りたい
- (6)町民、NPO、地場企業、町外企業、大学(専門家)の5つの協働体制を作りたい
- (7)北竜町を楽しく活力ある町にするために起業家を育てたい

3 策定方法

ひまわりの里基本計画策定委員会を設置し、ひまわりの里基本計画を策定する。

委員会は、学識経験者や専門家、ひまわりのまちづくり関係者、観光や農業など地域産業関係者などにより構成する。

また、多くの町民との情報共有から共通認識を深めるために、委員会は原則公開とし、委員会終了後、議事録を町のHPで公開する。

4 策定委員

- (1)構成メンバー 20名程度
- (2)学識経験者・専門家
 - ・立正大学 特任教授 鈴木輝隆氏
 - ・東京大学 教授 隈研吾氏
 - ・武蔵野美術大学 客員教授 梅原真氏
 - ・マルシェ株式会社 取締役会長 谷垣雅之氏
 - ・税理士法人JAZY会計事務所(公認会計士) 石川直也氏
- (3)町関係者
 - ・北竜町ひまわり観光協会 会長 佐光 勉
 - ・北竜町商工会 会長 藤井雅仁
 - ・ひまわりの里売店組合 組合長 藤田真理子
副組合長 沖野 学
 - ・北竜振興公社サンフラワーパーク営業所 支配人 高畑哲也
 - ・JAきたそらち青年部北竜支部 部長 小野 嵩

- ・JAきたそらち女性部北竜支部 部長 澤田貴子
- ・JAきたそらちフレッシュミズ北竜支部 部長 竹林玲子
- ・北竜町商工会青年部 部長 佐々木進一
- ・北竜町商工会女性部 部長 藤田真理子(兼)
- ・北竜町パークゴルフ協会 会長 干場 正
- ・北竜町ボランティア協会 会長 田中盛亮
- ・黒千石事業協同組合 理事長 高田幸男
- ・NPOあかるい農法 理事長 竹林由美子
- ・北竜町竜トピア会 会長 澤田正人
- ・北竜町町内会長連絡協議会 会長 谷本 明
- ・北竜町議会 総務産業常任委員会 会長 北島勝美
- ・チームノースドラゴン 代表 高田昌幸
- ・NPOひまわり 管理責任者 藤信清彦
- ・北竜町役場 副町長 高橋利昌
産業課長 細川直洋

- (4)正副会長 ①委員長 立正大学 特任教授 鈴木輝隆 氏
②副委員長 北竜町ひまわり観光協会 会長 佐光 勉

- 5 事務局 ・北竜町役場 産業課 商工ひまわり観光係
・北竜町商工会事務局

6 委員会スケジュール

- | | | |
|---------|-----------|----------------|
| 第1回 委員会 | 4月21日(日) | |
| 第2回 委員会 | 6月30日(日) | |
| 第3回 委員会 | 8月26日(月) | ひまわりの里基本計画中間報告 |
| 第4回 委員会 | 10月22日(火) | 隈研吾氏来町 |
| 第5回 委員会 | 2月中旬 | ひまわりの里の基本計画策定 |

7 これまでの検討内容 別紙資料1

8 今後の検討事項 別紙資料1

ハード①新展望台について

策定委員会における検討内容	パブリックコメントによる提案内容	今後の検討課題
<ul style="list-style-type: none"> • R1-2 ～ 既存展望台を活用 <ul style="list-style-type: none"> 補強(金具の取り替え)及び補修的装飾 →既存展望台の年季を生かす 生成り あかるい農法ギンガムチェック風 • R2 ～ 実施設計 <ul style="list-style-type: none"> >工期 R2.4-10 >コンセプト <ul style="list-style-type: none"> • 魅力ある展望台 • 展望台に人が集まる • ひまわりの里の象徴 >機能 <ul style="list-style-type: none"> • 昇降階段の設置 • 展望台と見晴台(1.5m)と迷路受付を一体的に • 車椅子利用可 >場所 <ul style="list-style-type: none"> • 現在地 • ノンノの森の前 or 中 • 世界のひまわりコーナー • R3 ～ 新展望台建設 <ul style="list-style-type: none"> >工期 R2.11-R3.6 	<ul style="list-style-type: none"> • 展望台は、ひまわりの里を望むために必須であり、新観光センターの屋上という案に賛成。カフェ併設については、冬期利用が多くないと思うので反対。 • 上り下りの階段を別にし、スペースをもっと広くし、階上や階下にイスを置き、展望したり休憩できるようにしてはどうか。 • 上り下りの階段を別にし、階段の幅もゆったりとってほしい。 ○建築場所によっては景観を損なう恐れがあるので場所をしっかりと協議すべき。 ○新展望台によって観光客を誘致するという視点も有るが、新展望台だけでなく観光センターや駐車場（路面にギンガムチェック柄を色づける）の改築によって総合的な視点で観光客誘致をしていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> • 場所の選定 • 観光センター一体型にするか

ハード②観光センターについて

策定委員会における検討内容	パブリックコメントによる提案内容	今後の検討課題
<p>○観光センター改修案</p> <p>➤現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 駐車場からひまわりへのアプローチを遮断している ・ 雨漏り ・ 暗い 屋外の日差しを遮る ・ 涼しい 屋外の熱風を避ける 風通しがよい ・ 雨よけ、休憩、飲食スペース ・ シャッターが歪んでいる 閉めづらい 骨格の歪み(竜巻) <p>➤改修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 屋上防水、窓枠補修、外壁補修 ・ 照明の増設 ・ ネット・サンドを明るい色に ・ 法面を階段にし、昇降だけでなく、ちょっとした休憩場所に 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建て直すのであれば、ただの箱物にするのではなく、ユニークな建物がいい（北海道で見た事のない建物）。また、使い勝手のいいもの、無駄のないものにするべき。 ・ 世界のひまわりの場所にて展望台を兼任した観光センターの建て替え。（展望台へのエレベーターも設置） <p>○夏は黄色、秋は黄金色、冬は白色、春は桜色など色の变化によって年間のイベントが創出できるような場であってほしい。また、商売ができ、繁盛するような施設にしてほしい。</p>	<p>○観光センター新築案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 機能の整理 ・ 場所の選定 ・ 展望台と一体型にするか
<p>○観光センター新築案</p> <p>➤コンセプト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ひまわり景観を第一に ・ 観光客の利便性 ・ 売店の使いやすさ <p>➤機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 涼しい ・ スポーツ施設機能 ・ ビールパーティ・歌謡ショー・盆踊り <p>➤場所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現展望台 ・ ノンノの森の前 or 中 ・ 世界のひまわりコーナー 	<p>○世界のひまわりコーナーに新築し、屋上を展望台、カフェコーナーにしてはどうか。また、現在の展望台がある道路から観光センターの屋上へ歩いて行けるなだらかなスロープを設置してはどうか。（車椅子も対応できる）</p> <p>○ひまわりの里を夏はマラソンコース（北商ロードレース）、冬はクロスカントリーコースをして活用（その発着点を考慮した観光センターの新築）</p> <p>○授乳室やオムツ交換スペースをしっかりと整備し、子ども連れの家族にも優しい観光地ということアピール</p>	

ハード③ノノの森の整備について

策定委員会における検討内容	パブリックコメントによる提案内容	今後の検討課題
未検討	<ul style="list-style-type: none"> ノノの森の中にジギスカンコーナーや焼き鳥コーナーがあると良い。 	<ul style="list-style-type: none"> 整備方針

ハード④観光案内所・協力金受付・ガラポン抽選・ひまわり茶の試飲・ひまわり自転車レンタルについて

策定委員会における検討内容	パブリックコメントによる提案内容	今後の検討課題
未検討		<ul style="list-style-type: none"> 場所の選定 機能の整理

ハード⑤ひまわりの里魅力アップ計画について

策定委員会における検討内容	パブリックコメントによる提案内容	今後の検討課題
<ul style="list-style-type: none"> • ひまわりの上を空中散歩 ターザンロープ、ジップライン • ひまわりの間を抜ける滑り台(そり) • ひまわりを下から見上げる仕組み • ひまわりの里のライトアップ 下から照らす 幻想的に浮かび揚がる • 日よけ+雨よけ+休息 景観と建物のマッチング • 現展望台農業排水路の埋設 → 一体的なひまわり畑の造成 • ひまわりを身近に見たい (ひまわり畑 A・B は遊覧車号専用道で分断されている) • ひまわり畑外周道 → ひまわり畑 G と I の間に通路を造成 	<ul style="list-style-type: none"> • ひまわり畑内（道路付近）に雨宿りや、日よけの場所が無いので、そのような施設が欲しい。 • ひまわり畑の上段部に外周の遊歩道が欲しい。 • ひまわり畑の西部の山林に桜を植樹すれば、花見をする観光客が来るのでは。 • ひまわりの上から下へ移動するジップラインは良いと思う。 <p>○観光牧場とアイスクリーム屋をつくってはどうか。</p> <p>○網走のシマリス公園のようなものを作り、餌としてひまわりの種を売るのはどうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 意見、アイデアの洗い出し • 実行するにあたっての諸問題等の整理

ハード⑥その他

策定委員会における検討内容	パブリックコメントによる提案内容	今後の検討課題
<ul style="list-style-type: none"> • いいひまわりを咲かせるためにひまわり畑の改良 →客土、暗渠、堆肥、緑肥 • 渋滞緩和策 駐車場の増設 迂回路の造成 	<ul style="list-style-type: none"> • (渋滞緩和のため) 墓地線を拡げる、西川方面へ抜ける道路の新設 ○国道に面したひまわりの里入り口に素敵な誘導看板の設置。 ○出口は西川方面へ抜ける町道の新設。夏のマラソンや冬のクロカンの参加者の心を掴む道路(勾配が箱根駅伝と同じなど)を作り、その道路をひまわりまつりシーズンの出口とする。 ○サンフラワーパークへ抜ける町道の新設(マラソン・クロカンをして温泉に行くルートを作る) ○河道掘削、砂防ダムの土砂等をひまわり畑に入れるのはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> • 意見、アイデアの洗い出し • 実行するにあたっての諸問題等の整理

ソフト①ひまわりの里集客計画（魅力アップ）について

策定委員会における検討内容	パブリックコメントによる提案内容	今後の検討課題
未検討	<ul style="list-style-type: none"> 花火は規模は大きくないが工夫がなされており、評判が良いので続けて欲しい。 ○観光バスを呼び込むためプランにソフトクリーム引換券等を組み込む	<ul style="list-style-type: none"> 意見、アイデアの洗い出し 実行するにあたっての諸問題等の整理

ソフト②ひまわりの里経営計画について

策定委員会における検討内容	パブリックコメントによる提案内容	今後の検討課題
未検討		<ul style="list-style-type: none"> ひまわりの里維持経費の財源確保 →ひまわりの里協力金のあり方、募金方法、ひまわりの里入場料に関する協議

ソフト③ひまわりの里の情報発信について

策定委員会における検討内容	パブリックコメントによる提案内容	今後の検討課題
未検討	OHP、Facebook、Instagram、YouTube ○その国の目線によるガイドブック作成	<ul style="list-style-type: none"> ・意見、アイデアの洗い出し ・実行するにあたっての諸問題等の整理

ソフト④ひまわりの里の名物の開発について

策定委員会における検討内容	パブリックコメントによる提案内容	今後の検討課題
<ul style="list-style-type: none"> ➤コンセプト <ul style="list-style-type: none"> ・ひまわりの里をイメージするもの ・ここだけの地元手作り商品 ➤現状 <ul style="list-style-type: none"> ・たい焼きおにぎり ・米粉ピザ ・おからパウンドケーキ ・あかるいT シャツ ・あかるいバスケット 		<ul style="list-style-type: none"> ・意見、アイデアの洗い出し ・実行するにあたっての諸問題等の整理

ソフト⑤四季を通したひまわりの里の活用方法について

策定委員会における検討内容	パブリックコメントによる提案内容	今後の検討課題
<ul style="list-style-type: none"> • 冬のひまわり 雪原に大きなひまわりを描いて展望台から見る 雪原にプロジェクションマッピングでひまわりを映し出す 雪の回廊にひまわりの灯籠 • 近隣との連携 秩父別町～ベルパークちっぷべつ、ちっくる、 キュービック初音、キャンプ場 沼田町 ～夜高あんどん • 「あぜ道を歩く」とか、「ひまわりの種まきや草取り」「ひまわりの刈り取り」などの体験観光 • ふるさと納税の返礼品を田んぼ一区画や、ひまわり畑の一区画に。 → ・返礼品はその区画から収穫できるお米やひまわり油を送る。 ・ 寄付した区画が収穫の時期を迎えたら、自ら収穫に来てもらうなど。可能であれば苗や種を植えるところから参加してもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○麦畑とひまわり→麦わらストロー、麦わらアート（ヒンメリ） ○ハーブ（コリアンダー・チャイブ・ミント・バジル・タイム・ローズマリー）とひまわり ・茨城県 ひたち海浜公園 →春：花ファイヤー&スイート&チューリップ、夏：ヒマワリ、 秋：コスモス&アザミ ○キッチンカー 軽食・飲料の提供 ○ひまわりの里を夏はマラソンコース（北商ロードレース）、冬はクロスカントリーコースをして活用 	<ul style="list-style-type: none"> • 意見、アイデアの洗い出し • 実行するにあたっての諸問題等の整理

ソフト⑥その他

策定委員会における検討内容	パブリックコメントによる提案内容	今後の検討課題
<ul style="list-style-type: none"> • いま本州で北海道に泊まりで農業体験したいという人が待機だけで2万人いるということを聞いたことがある。農業体験をさせてはどうか • 1日だけではなく長期滞在を促すように、連泊なら宿泊費割引や家族何人来ても10万円など長期滞在させるための企画があってもいいのではないか。 • 北竜町公認の「明るい農法ファミリー（仮）」を創設して、ファミリーには名前入りのギンガムチェックの名刺を持ってもらう。出張先などで「元気で健康なエネルギーを生み出す、北竜町の明るい農法ファミリーです。」と自慢しながら、名刺を配って北竜町をアピールしてもらう。 • 商品開発のデザインを考えている人、新しいビジネスをしたい人、会社を作りたい人、「何でもクリエイティブ・カフェ」の創設。 	<ul style="list-style-type: none"> • 体験型の観光が人気を集めているので農業体験はビジネスチャンスだと思う。 • 体験として、「北竜町のお米でご飯を炊く」「大豆を使って豆腐を作る」「ひまわりの花びらで染める」「カゴを作る」というのはどうか。また、冬に温泉に泊まるお客様にも色々な体験ができると案内する。 <p>○ヤマケン保養施設を宿泊施設として活用してはどうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 意見、アイデアの洗い出し • 実行するにあたっての諸問題等の整理 • 住民の自己実現と活動の支援方法（NPOや起業家の活動支援） • 研究機関によるデータサイエンスの活用 • 町外企業との協働による新商品開発（マルシェのおむすびコンテスト等）